

附 録

1973～4年「ハクチヨウ類」幼苗代湖滞留間における経過と記録。

1. 1973 10/9 例年より約10日早い渡来をみて以来漸次その数を加え、2/10には634羽と新しい記録をつかった。(日本白鳥の会定時定点観測)
2. 2/6 アメリカ、コハクチヨウの渡来確認
1968年日本で初めての確認とされてより2度目、日本では5羽目となる。最後の飛去時までその姿を見られた。
3. 今シーズンは例年のない豪雪と石油危機による水力発電のためと思われる湖面の低下は天然の餌場を奪われ氷雪の張り出しは白鳥浜で約300mに達した。必然的に給餌場の完備(融雪装置)の必要性を痛切に感じた。
4. 2/10 巡視時鳥帽子以東に定着した約300羽(全体の半数)は極度の飢えと衰えを見せるに至った。
(この時点で2羽の飢餓による衰弱鳥2羽を保護収容した。)この群は三城潟で通年給餌を受け元気旺盛な群と全く対称的であり、後日1部合流したものもあるが全く頑くなな面もみられた。
5. オオハクチヨウ約50羽は3/10 定時定点観測までは認められたが4/1の臨時観測では、その姿を消した。
6. 今シーズン中の落鳥は(鳥帽子浜1, 上戸浜(漂着)1, 稻名目浜1)計3羽であった。

慶

畠山正光氏(小湊)はさる11月3日、勲六等瑞宝章叙勲の榮譽を受けられました。ここにお祝いを申し上げます。

弔

佐藤尚幸先生(酒田市白鳥を愛する会会長・本会監事)はさる11月11日肝硬変のため逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

あ と が き

6月23日の日曜日、東京千代田区の番町共済会館で開かれた日本白鳥の会第二回総会に全国から駆けつけてきてくださった方々は、来賓、顧問をふくめて総勢30名。それぞれ、旅費会費持ち寄りの文字どおり手弁当での参加は日頃の白鳥に対する熱情のしからしむるところかと思ひ、感銘を深くいたしました。

当日は、環境庁自然保護局鳥獣保護課長補佐の友田安雄氏ほか三名のご来賓、それに顧問の山階芳麿先生のご出席もいただいて、午前10時から午後4時まで6時間にわたり熱心に議事の進行、消化にご協力をいただきました。ここにあらためて厚くお礼を申し上げます。

当日の議事の価値ある内容につきましては、細大もろさず収録するよう努めたつもりですが、何分にもテープをたよりの記録ですので行きとどかない点多々あることと思ひます。また折角、貴重な研究資料を示めして発表された方々もあるのに、その大部分を割愛せざるを得ないことになりましたことも、まことに心苦しい限りです。この結果を反省し、次年度の記録については、総会の議決事項は簡潔に要点のみにとどめ、会員の皆様の発表要旨をあらかじめ一定枚数の原稿用紙にまとめていただき、それをいっしょに登載したらどうかと考えております。さらに白鳥に関する文献の要約紹介やら、会員の皆様からの随想・お便り欄なども設けたいと存じております。

その他、本紙の編集については、いろいろとご要望等も多いことと存じますが、現在の弱体な予算と事務局の体制のなかでは、せいっぱいのようです。

最後に400字150枚にも及ぶテープの記録作業を全面的にご協力くださった吉川吉枝理事に心から感謝いたします。(本田)

日本白鳥の会会報

日本の白鳥（第2号）

発行者 会長 家田 三郎
発行所 新潟市一番堀通町一
 県教育庁社会教育課分室気付
 日本白鳥の会事務局
発行日 昭和49年11月25日
編集者 事務局長 本田 清
 TEL 0252(28)6111~326
指定銀行 第四銀行県庁支店
 口座番号40519~8
 日本白鳥の会
 (会 員 領 布)